

総合工学委員会科学的知見の創出に資する可視化分科会小委員会の設置について

分科会等名：細胞-身体可塑基盤からの自分を知り育てる科学知見創出に資する可視化小委員会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	総合工学委員会
2	委員の構成	30名以内の会員又は連携会員若しくは会員又は連携会員以外の者
3	設置目的	本小委員会はICT時代における25期からの新規の委員会の提案である。24期の「心と脳等-新しい領域委員会」での議論を引き継ぎ深化させ、心や脳を生み出す生命の単位「細胞」の創発性に由来する人間の可塑性の科学的知見の創出に資する可視化を目指す。さらにそれらの知見を人間が「自分を知り育てる」研究と教育の科学的知見の創出に発展させる可視化を目指す。19世紀の産業革命以前までであった古代ギリシャ以来の「汝をしれ」、即ち人間である自分に関する理工学的な問いに対して可視化により答えを出す。子どもから高齢者まで、「生きている自身を創る細胞の大きな可能性」を知り、自らの活動で引き出す健康寿命延伸に活かす科学や教育の芽を、身心一如や知行合一といった日本古来の考え方と対比&可視化し、研究と教育、文と理、身体と心/脳を一体化するための可視化にも取り組む。
4	審議事項	<ol style="list-style-type: none"> 1. 工学研究者に加えて、人間細胞適応生命科学、医学、コメディカル、脳科学者、心理学者、認知科学者、人文科学者、建築・芸術・情報・言語学者などの参画 2. 生命基盤から身心一体可視化科学新領域創成及び人を対象とする可視化研究コミュニティの形成 3. ICTと自分を知る教育の関係性などの議論と情報発信に係る審議に関すること
5	設置期間	令和3年2月25日 ～ 令和5年9月30日
6	備考	※新規設置